



こんにちは

奈良県人材・雇用政策課です。

県内企業魅力発見事業「高校生企業訪問バスツアー2024」

今回は「学校参加型コース」

第5・6回目のツアーの様子レポートです。

実施概要は、奈良県 HP

<https://www.pref.nara.jp/67101.htm>

をご覧ください。

11/25のツアーに参加したのは、御所実業高等学校機械工学科2年生2クラス62名です。クラスに分かれ、奈良県の産業を支える企業の中から3社を訪問させていただきました。

1社目は「一般社団法人 奈良自動車整備振興会（近畿運輸局奈良運輸支局）」（大和郡山市）です。

到着後、すぐに自動車検査場へ案内していただき、検査場内の各工程を見学しました。年間8200万台の車を検査し、1時間に20台もの車をチェックする膨大な作業という話に生徒たちは驚きました。実際に車検している様子を見学し、検査機器や実際の測定方法についても説明していただきました。その後、事務所に戻り、自動車整備士になるための説明を受けました。生徒たちは熱心に聞き入り、「自動車整備士として働くために、今から準備すべきことは何ですか？」や「整備士の仕事に興味を持ったきっかけは何ですか？」といった質問を積極的に投げかけていました。

2社目の「株式会社MSTコーポレーション」(生駒市)では、最初に会社の概要を伺い、その後は班に分かれて工場内を見学しました。生徒が特に興味を持ったのは、工場内を無人で移動できる搬送ロボットです。このロボットが複合加工機に材料の補充や交換を自動で行っており、間近でその様子を見ることができました。その後は、技術部門のオフィスや営業オフィス、高さ20mもある大きな自動倉庫を見学しました。質疑応答では、「この会社に就職しようと思ったきっかけはなんですか」との質問に、「高校の見学会でこの会社を知り、この会社に入りたいと思うようになりました」と回答をいただきました。

3社目の「株式会社日阪製作所」(生駒市)では、令和6年5月に稼働した新工場を班に分かれて見学しました。最初に案内していただいた食堂では、安くてボリュームのあるメニューを紹介していただき、続いて従業員の方がリフレッシュや交流の場として利用できるトレーニングルームを紹介していただきました。次に工場では、実際に従業員の方が溶接作業の様子や、従業員同士が和気藹々と働く様子を見学しました。質疑応答では、高校生から「コミュニケーションを取る上で気をつけていることはありますか」と質問があり、「目上の方にはしっかり敬語を使い、後輩には接しやすい先輩になれるよう言葉遣いに気をつけています」と回答をいただきました。

生徒からは、「工場で働くことに抵抗があったが今回のツアーでいい印象を持った」、「このツアーに参加して進路について深く考えることができた」といった声があり、ツアーに参加したことで県内企業の魅力を体感し、自身の適正や仕事について、その理解を深めるきっかけになったのではないかと思います。

企業からは、「自社の魅力や職業について知ってもらう良い機会となった」「次回以降も参加させていきたい」と声が届いており、非常に喜んでいただきました。

今回、未来を担う高校生に貴重な機会を提供していただいた企業のみなさま、ご協力ありがとうございました。

現在、「高校生企業訪問バスツアー2024」の公募参加型コースの参加者を募集しています。対象は、県内在住の高校1・2年生とその保護者です。身近に高校生がおられる方は、ぜひ本ツアーについてご紹介ください。

詳細は、

<https://www.pref.nara.jp/67101.htm>

をご覧ください。

※なお、今年度の高校生受入企業の募集は、終了しています。

#奈良県#産業部#人材・雇用政策課#企業訪問#高校生企業訪問#高校生就活#県内就労促進#
企業魅力発見#高校生企業訪問バスツアー#県内魅力発見事業